滿洲日報

○報價目
毎月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白價
一行五號二十一字起碼登一日者毎行二角毎登十日行一角五分登月者毎行毎日一角登長年者價當面議
從減　毎張四百文

料告
一ヶ月以內一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一厨房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一連紙　一圓
一フールスカップ全　四圓
一中判洋紙全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一巻紙　四十枚續　十四錢

一紙手本　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

特別廣告

本支店出張所
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫勤　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
橫濱正金銀行牛莊支店
電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
勝山丸　廿五日入港　四月廿六日出帆　太沽、芝罘　門司、神戸行
營口丸
山東丸　五月三日出帆　大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸　四月廿五日入港　廿六日出帆芝罘、門司行
日東丸
第二乾坤丸　廿六日門司直行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛口營船出帆廣告
盛航丸　廿五日正午出帆　門司、橫濱行
代理店　東營口公園地橫　ブッシュ兄弟商會
遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陵鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉凡貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
運般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一〇二

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各帮火輪船生意兼賣各割洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船　摩耶山丸　賴朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全又有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院
招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し既に催促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齢者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名毎日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
喜久洋行
營口永世街八十號（電話百五十二番）

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨足頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般業務ヲ擴張シ解船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮藏

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張り本機器連史紙訂五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

材木荒物販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

齒科名醫到營
治療齒痛之法爲衛生上必要之一端固未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余甞深以爲憾頃二一志士特請居留天津之齒科名醫田添豐二君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否玆不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口太古輪船公司

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各處船貨物凡客商有運之貨望交本號及各號分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者至本號面議特仰週知
東　營口南永世街北斗洋行
西　櫃開設　營口西北街塘　胡同內

東京電報

●桑港震災後報
桑港に於ける大地震は殆んど家屋の全部を崩潰して諸所より失火したるも震災の爲め水道は所々に破裂を生じ之を防止する能はず火災は益々猛烈を逞ふし三晝夜に渉りて漸く鎭滅したるも燒失區域は實に二十平方哩以上に達し此損害額は五億弗に及び死傷數は優に一千以上なり（二十三日午后六時發）

●上野領事の報告
上野領事の發電に依れば桑港の火災は三晝夜の後漸く鎭滅し御眞影は恙なし領事官舍は大損傷を受けしも燒失を免れ館員皆無事前電の如く在留民約一萬は飢餓に逼るの慘況に在り

●正金銀行着電
橫濱正金銀行への着電に依れは日本人の損害大なるも死傷は僅少なり商業は當分休止

●軍艦派遣の議
本邦居留民保護の爲め海軍省は軍艦派遣の議あり

●國民的同情の切望
國民は政府が國民的同情の表彰に機敏の行動を取らんことを熱望す

●汽船の發航無し
桑港より當分滊船の發航無かるへし

●税法審査委員會
大藏省内に税法審査委員會を設置し若槻次官以下九名に委員任命

●伊藤統監神戸着
伊藤統監二十三日神戸に到着せり

●陸軍の受賞人員
陸軍にて行賞に預る軍人軍屬數百二十二萬其内將官及ひ相當官百七十餘名佐官及ひ相當官二千二百餘名尉官及ひ相當官二萬千二百餘名といふ

●横川氏遺族の賜金
横川省三氏の遺子へ今回九百五十圓を下賜せられたり

●鐵道買收準備局設置
遞信省内に鐵道買收準備局設置せらるへし（以上四月二十四日發電）

鐵嶺電報

（二十四日午前十時特派員發電）

●受領委員の進發
鐵道受領委員中村少將の一行今朝四平街に向ひ出發す

北京電報

●英清西藏條約の内容
英國公使サトー氏と外務部との間に新締調印せる西藏條約の内容左の如し

一、英國は西藏が清國の保護國たるを認む
一、英國は他國の干涉無き限り全然西藏の内政に干涉せず
一、英國は西藏の鐵、鑛山其他の利權に對し優越の特權を有す
一、西藏印度間の貿易を增進せしむる爲め西藏に開市場を設け電線を架設すべし
一、西藏の行政事務は清國人の外他國人を使用すべからず
一、清國は英國に對し二百四十萬兩を賠償すべし（四月二十四日發電）

雜報

●省城管見（二）
（在奉天特別通信員）

金融界の現狀及び經過

舊時省城に於ける金融機關として清人の經營にかゝるもの票莊十三戶錢舖四十四戶あり共に民業なりしが、昨年初冬清國官憲の監督の下に官銀號一處は設立されたり、之に加ふるに我正金銀行あり、今千叟余は舊來當地商民と關係最も深き民業の金融機關によりて當地金融界の最近に於ける一張一弛を論ぜんとす。

昨年夏秋兩季間に於ける當地に於ける雜穀相場は暴落し、及び銀價の對銅錢相場の下落を來たしたることありて、當地著名の棧房中閉店するもの七軒、中止せるもの三軒、繼續するもの僅かに三軒なる經濟界に容易ならざる恐慌を惹起せり、元來此棧房なるものは穀物問屋にして銅錢手形を發行するものにして當地是等の棧房亦た各々五六万吊文（現時軍票一圓七吊三四百）乃至七百万吊文の銅錢手票を發行し居たるものにして、此の棧房の閉店若くは營業停止は延いて一般金融界の大恐慌を呼び起し、之に加ふるに遼陽市場に於ける錢舖倒産の影響また當地に波及するあり、之に加ふるに當地の錢舖また錢票濫發の弊ありしを以て波瀾忽ち渦を卷いて當地金融界を襲ふの窮狀を來たし、當地錢舖中大德增（資本金未詳）聚元潤（三万兩）謙震亨（十万兩）豊泰長（一万八千兩）義聚成（十四万吊文）景興義（二十万吊）公議通（四千五百兩）誠記（二十四万吊）阜豊號（七万二千兩）等相前後して破産したり、資本金よりも兼て信用を以て營業し來りたる清國流錢舖の事とて、其貸借關係若くは錢票の發行超過等（阜豊號錢票發行高實に百餘万吊文）は夫れ等錢舖の破産が直接市面經濟に及ぼす慘禍の實に輕視すへからさるものあり、依て阜豊號の如きは十萬圓の融通を將軍に懇願したるも、史財政總辦か、國家の財實を以て私人の錢舖を救濟するの不可を唱道したるを以て行はれず、斯くて此市面經濟上容易ならさる時宜に際し、清國當該官憲は漫然看過知らさるものゝ如し、其結果は延いて公議商局に及び、當地に於ける主なる商舖の出資に係り資本金額僅に七万兩なるも舊來一般の信用厚く錢票の發行高四百餘万吊文に及びたる公議局は俄然取付を受くるの厄運に瀕し、一面また郁記（三万兩）粹延祥（一万五千兩）の二錢舖も相次で閉店するに至り、恐慌また恐慌、金融界の紊亂實に窮極を見さるに至らんとせり、依て以て我正金銀行より五万圓乃至二十万圓を公議商局重役に貸付くる事となり、我軍政署亦た告示を惠みたるに、人氣忽ちにして挽回し、正金銀行よりは即ち五万圓を貸付けたるに止まりて、公議商局の取付漸次平常に復し、紛亂を極めし當地金融界追次春風あり、日前清曆三月十五日當地の節季亦た平穩に計算を完了したるもの〻如し、斯くて一般の金融界は我軍政の德を謳歌し、我正金銀行の義氣に對して大に信用を增加しつゝあり、商民甚た生色あるは余輩の近來稀ふへき現象とする所なり。

●奉天の豫定居留地
清國政府は奉天開放の準備を訓令したるを以て奉天交涉局に於て夫れ〳〵用意する處あり各國民に對する居留地は小西邊門外一帶の土地を豫定したり同地方は重に官地にして民有地少ければ清國の居留地として撰定せるも宜なりと云ふへし

●贋造軍票現はる（遼陽）
軍票贋造も暫く其噂を絶ちたりしに圖らずも遼陽に十圓軍票の巧みに贋造され一見して判別しかたきもの出てたることそ怪しけれ今贋造軍票を發見せし其の顚末を聞くが儘に記さんに十九日の事なりき遼陽西門外石光洋行内に同居する田中ヌイと云へる婦人金齒を塡めんとて西街に開業する齒科醫德平啓剛方に來り技術料十八圓の内手附金として十圓を渡したるを神ならぬ德平齒科醫は之を以て直ちに米を買はん爲め使を有馬組に遣したるに有馬組にては其の十圓軍票の色合異樣なるより能く〳〵精査すれば這はそも如何に全くの贋造なれは有馬組は其の旨を使のものに通し米を渡さゝりしか此の贋造沙汰早くも其の筋の聞知する所となり德平齒科醫は嚴重なる取調を受けたる結果同人は元來田中ヌイより手附金として受取りたる儘机上におきたるを飯米の盡きたるより何氣なく軍票を以て米を買ひに遣し贋造とは夢にだも知らざる次第判明せしかば順次其の出所に就き取調へられたるに遼陽西街料理營業協進館事大關鹿之助方へ此迄繁々通ふ猥客あり曾て或る夜のことお定りの勘定に十圓票一枚五圓票二枚を仲居の古澤クラといへるか受取りしも當時クラは素より誰人さへ贋造たるに心付かずして前記田中ヌイへ吳服代に支拂ひたるを田中ヌイは又德平齒科醫に手附金として渡し斯く流轉したるもの〻由なるか首肯しかたきは前記の客人にして目下嚴密なる調査中なりと遼陽界隈での噂とり〳〵なりと云ふ（遼陽通信の節）

●川崎軍政官の紀念建碑
故鐵嶺軍政官川崎虎之進氏が僅々四ヶ月の在任なりしに拘らず輕便鐵道の敷設商品陳列館の開設新市街の設計病院學校の設立等非常の熱誠を以て之か經營に從事し其鐵嶺軍政の爲めに貢獻せるの極めて多大なるのみならず居住淸國民亦依て以て其餘澤に浴することを得轉た追慕の念に堪へず乃ち西川關東總督府參謀高橋第十四師團參謀長大原昌圖軍政官橋口鐵嶺軍政官及び鐵嶺趙知縣海城管知縣等發起と爲り同軍政官の爲め紀念碑を設立せんとし此頃其趣意書を公にせるが募集金額は約二千圓を限度とし寄附金申込期日は四月二十日より五月二十日迄に鐵嶺軍政署内紀念碑建設掛宛送附せらるへしとなり因に該紀念碑は鐵嶺城東龍首山頭風光佳絶の地をトして之を建て碑身は鐵嶺地方産最良の石材を用ゐ高さ一丈二尺周圍に鐵柵を繞らし碑文は鐵嶺知縣趙氏の撰文とし篆額は大島總督の揮毫を請ふ筈なりと

●鐵貨車積卸賃の低減
從來營口驛に於ける各輸送業者の貨物は淸人直接に請負はしめ一噸に付銀卅錢雨天又は夜間は五十錢にして河岸迄の運搬賃は一個六錢馬車積込卸賃一噸三十錢を支拂ひ尙此外に酒代なるものを時々要求し之れに應ぜざれば發車時間切迫の際と雖も敏速に積込卸をなさず種々の弊害續出し各輸送業者は非常に困難し居る所なるが今度江村某なる人苦力請負を開始し一噸の積込卸賃一噸廿五錢雨天夜間は四割增河岸迄運搬賃一個四錢馬車積込卸賃廿五錢に低減し如何なる場合と雖も右賃金の外は一切請求せざる事として輸送業組合事務所より特に推薦せしものなりと云ふ

●遼河輸送組合の總會
昨日午後三時より日本人會々議室に於て開催せり當日の議題は各組合員の運賃手數料等競爭の弊を避けんが爲め共同事務所なるものを設置し航行願出は一切同事務所に於て取扱をなす事と云ふ原案にして一二反對者出て甲論乙駁非常に議論沸騰し本紙締切迄には海とも山とも決せざりき何れ精細は次號に掲載する事とせん

●天津だより
▲駐屯軍送迎會　本日當地居留民は午後五時より日本倶樂部に於て駐屯軍送迎會を催したるが定刻となるや目下來津中の春木大佐及び板橋少佐を初め駐屯軍將校同相當官在留民一同立錐の餘地なきまでに來會者あり一同の着席と共に佃顧問は居留民一同を代表して從來の駐屯軍將校以下下士卒一同の勞苦を謝し一ヶ年にして交代せらるへき駐屯軍か二ヶ年有半の久しきに亘り然も日露戰爭中此の地に駐屯せられたるなど諸士の胸中察するに餘りあり我居留民か安寧秩序を得たるは偏に諸士の力なり聊か粗辭を述へ居留民一同に代はりて感謝すと猶新來の將校下士卒に對しては此の乾燥無味の地に駐屯せらるゝに至り風土の障りなく前駐屯軍に代りて在留民の便利を與へられたしとの旨を以て一場の挨拶あり次きに板橋隊長の答辭あり終りて立食の宴に移り且つ食ひ且つ飲み模擬店に滿腹駐屯軍萬歲を三唱し十二分の歡を盡して散會したるは午後八時なりき▲前駐屯軍の出發　當地駐屯軍は愈々明二十一日午前六時四十五分の滊車に乘して出發ト塘する事となりしか猶山海關分遣隊は本日同地出發塘沽に到着し當地及び北京塘沽山海關其の他の分遣隊と共に塘沽を發し笠戶丸に搭乘して歸國の途に上ると云ふ▲同文書院學生の修學旅行　上海同文書院學生七十餘名修學旅行の爲め去る十九日汽船西平號にて上海を發したる由なるが來る廿三四日頃太沽に着し多分北京に直行し夫れより當地に來る筈なりと（四月廿日發）

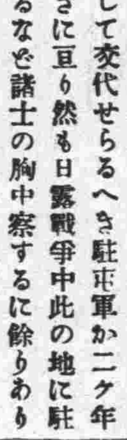
●小田切正金取締の着營
今回在滿洲橫濱正金銀行統轄店長に新任せる小田切萬壽之助氏は豫記の如く昨日午前大連より來營直に正金支店に入り當分同支店内に起臥すへしといふ

●青年倶樂部の資金募集
軍隊の引揚と共に基督教青年倶樂部慰問部も旅順遼陽二個所に限り其他は總へて閉鎖し今後該二所に全力を傾注することゝ爲れるが尙鐵嶺に於ても是非とも該倶樂部設置の必要あるにより遼陽倶樂部の高畠爲次郎氏は資金募集の爲め此程來營せるが軍隊慰勞部名譽主事グリーソン氏も大に盡力しつゝありといふ

●八網丸破壞工事
昨年二月碇泊中の帝國軍艦愛宕艦と衝突し沈沒したる八網丸は愈々當地の大和公司之れを請負ひ本日より破壞工事に着手すと云ふ

●松榮座本日の狂言
新演劇十二ケ目 葦分舟一名兒は罪人弟は警部大序より大詰迄其主なる役割は▲葦名太郎左衛門、息子太郎（千代花）▲下男梅造、藝妓小紋（美根代）▲秋月靜子、（小美枡）▲秋月警部、源次（美澤次）▲葦名次郎（美根六）▲あんま、小分三吉（美根八）▲小紋母（美花丸）▲幇間一八（美千代）

投書かご
高砂ホテルに豪の者ありたり藝名高之介と云ふ今や去つて鐵嶺に在るは知る者の知る如し即ち其の征途に付くの日前會々某々等の席に侍り宴酣にして三味オツトリ唸りて曰く「なれし營口をふりすてゝ知らぬ鐵嶺で苦勞する花やせんては勤めの習ひ客の御座敷もうはの空ツラカロウが辛棒してくれ今暫し立てし浮名は仇にせぬ、花も時節で咲くわいなあ」何の事やら誰に云ふのだツエー馬鹿〳〵しい▲十郎大冠者も高砂の一人でありたるか同しく征途に上るに當り斯樣の不埒を唸り居ツた「つらかろがしんばしてくれ今暫し人の口故遠かる、長く別れはせぬほどに必ず短氣を出さぬ樣に」コンな奴こそ木捨老大人に叱つて貰ひ度ひ（飛入伯樂）



●忠魂追弔の議
來る五月一日靖國神社臨時大祭を行はれ天皇陛下御親祭を以て三十七八年の戰役に於て戰病歿者數萬人の合祀を行はせらるゝに付其筋に於ても各遺族の參拜者をして滊車汽船に頗る便宜を與へられ且つ亦た參拜者には禁苑拜觀の榮を與へられ尙は種々の御優遇をも賜はるゝ哉に洩れ承る所なり戰病歿者地下に在りて聖恩の深厚優渥なるに感泣するならん然り而して今回合祀の榮を蒙る戰病歿者の遺骸は多くは滿洲の野に埋葬しあり然れは滿洲の野は盡志報國烈士墳墓の地なり今や此地に來りて戰後の經營に從事し且つ從事せんとするもの老若男女を分たす當日一日の業を廢して共に一塲に相集りて淸酌を供へ遙かに靈魂を慰せられん事を希望の至りに堪へさるなり滿洲各著名の地に設立しある日本人會及各種の團体に於て發起者となり一大盛典を擧けられん事滿洲在住の邦人に告く（新民府在住日本愛國生）

春日幽居　野波水外

草堂春淺寂如禪。一縷香烟和茗煙。梅有開花花映硯。竹無進月月浮泉。石頭閒睡夢成蝶。几外靜吟詩學仙。流俗豈知微妙處。人間別有洞中天。

和韻　岩城黃雨

地古市遙間似禪。晴窓日暖澄茶煙。吟詩淨掃琴彈石。覓醉時臨泛酒泉。雅趣移來忘日月。幽情繫處到神仙。聖恩偏渥玆身泰。自賦新篇傚樂天。

和韻　秦英舫

午夢初醒寂似禪。珠簾裊々淡茶煙。翠看垂柳紅看杏。靜愛名山動愛泉。風月無邊眞富貴。琴書有味小神仙。雕欄倚遍頻搔首。笑把新詩欲問天。

春の海　黃雨

眞帆片帆かすみに消ゆる曙の
ひかけ長閑にのほる海面

早蕨　耕南

振りあけしにきりこふしの早蕨も
そよふく春の風やとくらん

同　露月

うら〳〵と長閑けき野邊に打ちむれて
里の乙女わらひとるなり

同　黃雨

野遊ひの家つとにせん乙女らか
こゝろせわしく折れる早蕨

柳樽

苦力（日本人から觀た）

蒜喰つた報ひ仕事を取り損ね
軍票に鐵拳添えて苦力賃
苦力賃いくらやつてもボオボンナ

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四〇

税關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管

本年二月三月四月ノ三ケ月分本會々費ハ來ル廿五日限リ

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
營口ブリッジ
川鐵工

營口地方天氣豫報　自二十四日午後六時至二十五日午後六時　南の風晴

小説

新作小説 おとし胤（四十五）　德田秋聲

子爵の此の悔恨、此の煩悶は永い！　殆ど十年に亘ツて、不斷の惱となツてゐるのであツた。少壯、一時の情に驅られて、若き婦人の生涯を過らせた罪惡は、今や人の親となツて、更に適切に心の惱となるのであツた。そして、其ある爲に、一家紛亂の禍を培はれ、其あるが爲に、天眞爛漫、花の如き少女を涙の谷底に落して置かなければならぬ。人の心のある者、誰か、これが斷腸の思とならぬであらう。

血潮沸く若盛には、誰か、若き婦人の熱き情に狎へぬものがあらう。されども、若き婦人の親となツては、誰かまた、それを悦ぶ者があらう。

血潮沸く當時は、若き婦人の情の熱きを願ひ、其の無情さを憎む。親となツては、娘の心の冷ならんことを願ひ、反ツて其の無情さを愛す。人の心の、さても可笑しや！

子爵の心も、丁度其だ！　子爵は、もしや光が、熱田の爲に心を惑はされはせぬか。惑はされて、身を汚されはせぬか。熱田には、決して惡い心はあるまい。惡い心はあるまいが、結果は惡いことになる！

考へると、子爵は、凝如として居られなくなツた。

「後を尾けて見やうか。」

と思ツても見たが、それも餘り心ない所業と謂はなければならぬ。そこで、とつおいつ思案だ。何しろ氣が氣で無い。

何んの一時間や二時間の散歩の間にと思復しても見るが、それは迂濶の沙汰である。設や一分間の隙にでも、一度手と手が觸れたら其きりである。其の後の成行を思はなければならぬ。

「こりや此うしては居られぬわい。」

子爵は、獵師が、足下から鳥の飛立ツたやうに騒出した。そして兎に角築山へ上ツて樣子を見ることに定めて、其の方へ足を向けられると、

「御前…………」

とさも無愛想に呼掛けて、行方に立塞ツたのは、夫人。見れば、着物を着換えて、何處ぞへ出掛けられる樣子。

「何んぢや。」

と子爵も、冷な御返事で、不思議さうに夫人の姿を瞶められる。眼は、異樣に光ツてゐた。

「私、鳥渡實家へ出向いて參ります。」

「實家へ？…………」と子爵は、疾くも夫人が實家へ出向かれる所故を合點せられた。けれども知らぬ顔で、「何爲に行くのぢや。」

「少々内談がございまして…………」

と妙に氣を持たせた口振である。

「内談か。」と子爵は、嘲けるやうに、「勝手にしたが可からう。」

と投出すやうに言發して、ぶいと築山の方へ行かれるのであツた。

夫人は、些か、張合の拔けた氣味であツたが、これも御殿の方へ引返される。

間も無く、馬車廻しを遶ツて出て行く馬車の軋む音が、高く邸内に響渡ツた。何事に依らず華族の躰面を重んじて、華美を好かれる夫人は、お實家へ馬車を驅ツて出向かれるのであツた。

子爵は、築山の上で、此の響を聞かれながら、

「馬鹿め！　實家へ行ツたとて何んになる。一家内にあツては、主人の權能は絶對ぢや。」

と淋しい微笑を傾けて、更に氣にも止められぬ樣子で、迫と眼下に廣がる田圃を眺められるのであツた。

而ると、田圃の徑を行く三人の影が、子供のやうになツて見える。そして光と熱田とは、ぴツたり寄添ツて行くのが解ツた。子爵の頭は嚇ツとする。

「最早猶豫はならぬ！」

子爵は、あたふた築山を下ツて、三人の後を追ツて、裏門から田圃へ出た。田圃へ出て見ると、何處へ行ツたのか、三人共に影も見えぬ。

「や！…………」

と子爵は、大急で、きよろ〳〵四下を見廻したが、何しろ周圍には、淺い雜木林が多い。それで何の雜木林の中へ入ツて、何の方角へ行ツたか、其の見當が付かぬ。此の時の子爵の煩悶！　其の魂は、何處へか飛んで了ツて、子爵は、ふら〳〵と的も無く三人の後を追ふのであツた。

…………

●そゞろあるき　醉雨子

ぶらりと宿舍を出たのは午后已に四時頃であつた、前日の春雨の爲め雪解以來の泥濘であつたが僕の出た時は此處彼處の凹潦ありしも左程でもなかつた軍政署を左りに見て右手の横丁を抜けて河岸に出た、潮は滑かに海岸の柳は青々としてゆんらりゆらり烟るかと思はれるばかり雨后の夕景を採出されて居る、灣頭は遙かに朦朧と霞み水天髣髴の古詩をうたゝ追慕さした、數艘の漁船は檣に釣燈を揚げたのも見ゆる、土人の舢舨五六隻長閑そうに漕ぐ、紅毛人四五人何かさゝやいて笑ふて居つた

日營ホテルの門に一人の佳人が居る、丸髷の四十近き奥樣らしいのが其の佳人の側近く行く、佳人は其の何かを耻づるかの樣顔を背向ひた、日營ホテルの角を左りに第一市場を直線に行く中央の雜貨店の若い女將が物知り顔に右手を頰張つて帳場を扣へて居る、土人の汚ない着物を着た奴がヘタト僕の顔と打合した其の臭味、こらつと叱つたら後をも見ずに逃げ去つた、憲兵宿舍の前に芝居にでも連れて行くのか一人の紳風士の男が粋的を頻りに促して居つた、洋服店の前に六七人、初音とか言ふ前にも二三人湯上りのこツてり塗つた羽二重の樣な顔の粹連。往來の人を見て密かにくすり笑ふたりするの樣見いた、瀛船の乘組員らしい藍色の着物を着た連中五六人計りづゝ三組となつて僕の先を行く少し御機嫌過でしたらしい歩振あつた、其の中には夕の家へ行こうなど〻。豪氣呑まんと欲シ五大酒の勢であつた。料理屋〳〵は全く軒頭迄で灯された、芝居見の人か、和服、洋服、腕車を二本町の方向へ急ぐ。四五間先の人影が見分けることが出來ぬ薄暗くなつて來た時計は六時三十分を示すてあつた

●營口花信　平野町の大吉樓には樣子の好い姐さんが揃つて居る爾うして支那人の財布を絞るに妙を得て居るけな▲三日月樓へ今度新猫が一匹來たさうなが營口第一の美人ぢやといふ話だ何も試驗ぢや一つ探檢に出掛けたら何うだらう▲日本館のお龍さんは松榮座の苅萱道心を見て大聲を擧げて泣き明かしてそれで足らぬと謂つてワツト衆座の中を押し分けて飛び出したのはチツト滑稽であつた▲日本館のお福のお饒舌と來たら有名なものぢやが自ら口學士一名辯護士と謂つて居る他の者も本名を呼ぶ者は一人も無い辯護士が通り名と爲つて居る其お饒舌が此頃毎晩のやうに辰馬の居候と一緒に芝居に行く餘りギヤ〳〵言ふと退場を命じますぞ▲祇園閣のお俊さんは此頃旦つくがお留守なので此日曜の泥路にも拘らず御手車で御引籠中の御病友を醉月へ御訪問なんかは中々御優長の御境遇で入らしつやいますてと

廣告

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
妊婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎
五月一日より開設ス
森病院（電話一五五）

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日　營口有志者白

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、（東京）上等醇節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

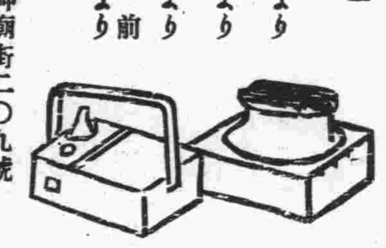
和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花蓮。マツト。
油多加織。ビロードセン。

關内外蘆漢鉄道貨物
一運輸手續（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續　事務取扱（但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第一七二號
大淸通運公司　營口支店

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモス
雪月花
ゲンシン　ピヨガイ
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　全　松吉　全　二〇か　義太夫　牛莊
御客樣方

內外船舶代理店　貸借仲立　輸出入稅關手續
[illegible]荷客取扱所
瀛船出入案內
盛航丸　本日出帆　門司、横濱行
御乘船の御方は御一報被下候へば切符持參可仕候尚御手廻荷物は當店送達組に御用命仰付被下度奉願上候
解船人夫運搬請負　諸品委託賣買
水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　德重洋行

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ECINNEER.
— —
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一卷壽し　一本　十五錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
一東京壽し　一人前　卅五錢より
右之外御誂に應す
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭


梅毒婦人科　外科胃腸病
全身魔醉局處魔醉嶄新器械無痛手術
專門日本醫院
輕便入院
永世街警務課ノ前

時下艶春花を見るの好時節相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人（電話一四四番）
各位

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

旅館　御料理
扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

和洋御料理
一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今回各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

元神廟街憲甲第二三〇號
宅合名會社支店

當店義都合有之本月限り閉鎖仕候跡ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社 營口支店 閉鎖廣告

清酒 澤龜 印
御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院内ニテ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日
宅洋行

胃腸病新藥

消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見

滿洲特約一手販賣
東瀛大藥房 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉肋軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未平於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効
發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白

江副洋行
(電話百三十七番)
(元神廟街)
雜貨商

本行開設以來已屆週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞

帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡鑑婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

銘酒 白鶴 諸雜貨

今般新荷着に付ては卸小賣共是迄の賣直段より壹割引 酒及米罐詰は五歩引を以販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

井門洋行
營口元神廟街 電話一八五
遼陽西門外 仝支店

美味安價西洋料理 牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく亀破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)
井上公司

大日本帝國有名方劑 化粧品一切 卸賣並ニ小賣 藥

右內地と同樣の廉價を以て卸賣小賣共親切を旨とし萬事御便利を謀り申候間多少に不拘御用命被下度候御注文次第直に持參可仕候 電話にて

大阪谷回春堂滿洲總售處
營口永世街 三木洋行 (警務課司法部東隣)
天大藥房 (電話百九十番)

日本有名秘藥物發售廣告

右顧客以上及各一切藥料髮油婦人用香水以上各貨物價格外廉價以て即ち完全遠隔之地にも迅速に御用命に應じ候 無論零賣整賣均可 營口永世街回春堂向 三木洋行 警務課司法部東隣 大阪谷德律風 本店滿洲總售處 日本內地中々商賈士賜顧 特此告白

回春堂 三木洋行 大藥房 (電話百九十番) 啓

發賣
木材料 標子 木板

塩川商會
遼陽小西門內 塩川商會

●建築用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

清國營口二本町二五五號
主任 塩川峯吉 (電話一三六番)

質屋營業

精々勉强御更宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街旧憲第三十六號
北斗洋行質屋部

開業廣告

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
元神廟街二四八號(電話局向)
月 日
義安公司

木村寫眞館

最新流行之
寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候
弊館は更に一大勉强をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候
營口二本町

歐米名國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 弁に製本
弊所特色
●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造
醇良清酒 澤之鶴
滿洲特約大販賣
(周)
清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

大連湖北彩票每日賣出
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

東清鐵道裕和盛運輸局
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎

澤之鶴は既に定評ある天美祿!
裕和盛は清商中日本通の張本!

御料理
滿月
滿月支店
平の町(電一六三)
平安町元都樓跡
店主 吉本勝恵

營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)
御席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

宮門抄

二十八日
工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引見　睿王假滿請　安　雙壽
成昌伺候　召見　溥倬由新疆省親回京請　安
召見軍機　溥倬　雙壽　成昌
政務處遞封奏一件

上諭恭錄

二十八日奉
上諭甘肅新疆布政使着王樹枬補授欽此
上諭江西按察使着秦炳直補授欽此

奏議

雲貴總督丁振鐸跪　奏爲滇省學務經費短絀擬將舊支科場考棚等款查照部議分別提留恭摺仰祈　聖鑒事竊臣承准軍機大臣字寄欽奉　諭旨着各省督撫將關於科舉各項用欵無論報部外銷盡數解京專備學務經費至各省認解大學堂協濟各欵仍當源源照解等因欽此欽遵伏查前准學部電稱前學務大臣奏提各省科舉等欵詳請　旨意賅綜各項則考棚經費等類均應儘數提解本部總理全國學務自應內外兼顧在京師籌欵維艱不能不資各省之分任其應歸各地方自辦學務者本部亦分當統籌務乞飭查科場考棚等項經費確數先行電復以憑分別何項提京何項留辦各省地方學務用符通籌全局之議等語即經轉行各司道查照辦理並先將大致情形電復該部在案茲據雲南藩司劉春霖會同糧墟道暨善後局學務處司道詳稱伏查滇省每居文武鄉闈由司庫報部項下動支經費並試官盤費等項除扣平外實銀一萬九十八兩零善後局外銷項下動支經費銀八千七百八十七兩零尚有不敷又由司庫外銷釐金項下動支約計一萬兩之譜歲科兩試由司庫報部項下動支省城暨江等九棚經費實銀六千餘兩又每居支給舉人五成標匾銀八百餘兩鹽道庫報部項下動支楚雄景東棚費實銀一百九十餘兩此科場考棚經費舉人標匾報部外銷之實在數目也至各屬考棚經費向有攤帮一款由各該地方官捐集每棚數百兩不等如東昭兩府歷由該地方自行籌辦未動公項竊查滇省科場經費前准學部來電已認將司局報部外銷兩項應支銀一十萬八千餘兩認作三年分攤提解自光緒三十一年起每年解銀六千兩先行電復在案至考棚經費因各屬僃設學堂隨時提充學務經費用據大理景東彌勒等府廳縣申覆除止額棚費外其攤帮各欵因地方貧瘠復無學田賓興等項可提請留辦各該處學堂均已批准照辦是棚費一項僅有司鹽兩庫例支之欵可以提用此外別無可提且查雲南學政年僅支給九成養廉實銀三千三百八十餘兩八成役食實銀一百五十七兩零該官吏辦公紙筆飯食向賴歲科兩試棚費藉資津貼現雖停止考試專辦學堂而該學政既奉有考校學務之旨仍應延請幕友雇募書役照常辦公並須出省考校以及派員分查學堂需用正繁所得廉俸實屬不敷開支不能不另籌公費俾資應用又遣派學生出洋經費均極短絀現在專辦學堂尤不能不設法籌維冀求擴充學部總持京外學務必能兼顧統籌茲擬請將滇省司局報部外銷科場經費銀一萬八千餘兩仍照前電分年解京其外銷釐金項下支給不敷銀一萬兩歲科兩試由司鹽二庫報部項下動支考棚經費銀六千三百餘兩舉人五成標匾銀六百餘兩儘數留供雲南學務公費及遣派學生出洋經費之用至各屬就地自籌攤帮各款並請留於各該地方辦理學堂免致竭蹶其每年應解京師大學堂經費銀九千兩前已解至三十一年止此後自應遵　旨按年源源籌解不敢延誤等情前來臣覆查屬實合無仰懇
天恩俯念滇省學費短絀敕部查核立案准將科場考棚經費等款按照部電分別提留出自　逾格鴻慈除清單送部查照外謹會同雲南學政臣吳魯恭摺具奏伏乞
皇太后　皇上　聖鑒訓示施行謹　奏奉　硃批學部議奏欽此

東京電報

●**美屬大地震之詳情**　美屬桑富蘭洗斯科地震之慘狀已誌報端據日昨東電云於西四月十八日上午五點鐘始有劇震下午亦強震數次因震災與火災均破壞該埠之半住無家彷徨路頭者約二十萬人匪徒橫行恣其殺戮雖有警察不得周防乃施以戒嚴令其混亂之狀恍如親覩戰場又云此次震災實美國之大窘厄而桑埠之存亡繫焉因水道破裂不能防止火害今尚炎燄熾大未能熄滅美國總統深憂不措遍論國民講究救濟方法又云在美屬蛙星頓加里河爾尼亞州地震之損害亦覺甚大失家放浪者超於十萬人死者約五千人負傷者無算在桑埠日本人或死或傷華民街亦被菑頗甚火勢益猛食貲全盡凡在加里河爾尼亞屬十有五市困弊達其極點悲慘不可名狀美國議會即議決支出救助費二百萬圓云云　(西四月二十二日發)

●**德國擬設領事署**　此次德國爲在滿洲推廣該國之商務已擬設領事署於牛莊云

●**日皇電慰美總統**　在美屬地震之災日皇深憫其慘狀即電致總統慰問其无妄之菑辭意殊懇到云

●**大地震損害概額**　此次在桑埠火災亘二晝夜之久始行熄滅延燒有二十平方哩之廣其損害總額計共五億圓死傷多寡尚未詳云　(以上西四月二十三日發)

中外要聞

●**南昌教案在京開議之交涉**　南昌教案由梁觀察敦彥與法國端參贊在南昌磋商然彼此互有意見堅持不下難望轉圜竟停議先後回京乃外部奉　旨飭令鄂督張香帥辦理教案故張督簡派梁廉訪赴南昌查辦教案以爲中法交涉地步不意法國駐京呂使照會外部請南昌教案提京直接磋商不肯在鄂商辦而外部因前有左給諫紹佐奏參外部辦理教案不協機宜又有吳子和給諫奏請派大員督辦南昌教案若提京由外部議結必致顢頇了事損失國體等語故外部慮招怨謗不願提京議結而呂使慮教案在外省磋商不免遷就不決虛糜日期固執提京議結之說外部不便峻拒遂允提京商議於月之廿四日端參贊奉委抵外部申明贛撫胡廷幹保護不力釀生教案咎係難辭撤任之後二十年間不允補授實缺但委辦路礦事於法國無涉臬司余肇康前於施南教案辦理不善今又於此教案遷延觀望未能審結首犯比較胡撫罪情更重宜行革職永不敍用其餘藩司府縣均有責任宜據情議處俟貴國政府辦結地方官事然後再議賠款事宜等語外部刻正集議仍未覆合然外部之意凡更動贛省地方官事宜擬交部議處而拒斥法國邀求以保全主權蓋懲辦地方官事雖中法各有意見然尚可通融至於賠欵一事中法意見相距萬里萬難議結彼此互執意見遷延多日於中法兩國無利有害執筆人盼望互相退讓從速辦結以全中法邦交焉

●**奉人派辦郵政**　月前總稅務司赫宮保奏請在東三省推廣郵政以便消息靈通政府諸公頗韙之已飭令趙將軍會同赫宮保辦理茲聞此次日軍由奉省撤退隨時歸還郵政歸我國主持現於大孤山岫巖鳳凰城等處由趙次帥派員接辦已由趙次帥電達外部矣並聞此次奉省各郵政辦事員皆簡派熟悉郵政之員委辦故從此而後東省郵政必有起色矣

●**俄使報告**　北京專函云駐京俄國公使璞科第昨電該國外務部曰中國政府派遣肅親王前往蒙古考察聞其目的在保古利權及固蒙古邊界是我俄國之於內外商務以及其他利權必爲妨害云云

●**電查庫倫金礦**　俄商在庫倫附近開挖金礦迭起交涉茲聞外務部致庫倫辦事大臣延錫之電飭將該礦全案俄人自何年開挖是否訂有合同礦山四至圖表及礦質如何一併詳查咨部以備查核辦理

●**退兵風說**　傳聞德國亦欲將膠州之駐兵撤退以示德國與中國交好之心愈有增進未知確否

雜報

●**沈船遇救**　昨有上海友人云有樂牛輪船直放牛莊至長興島船忽開漏其船沈沒三尺幸有愛仁輪船等同時往援人被撈救幸無大傷云

●**漁人得利**　本埠昨午後新到煙臺漁船二十餘隻時下煙臺黃花魚出貨甚多打魚網船皆滿載而歸頗獲厚利云

●**實惠均沾**　常年凡由天津山東等處搭坐汽船來埠者每名船票錢兩元上下不等刻因榆營鐵路減售通由津來埠或至新民府每人二元通体一律因而各汽船亦效其舉凡由山東搭坐之客每票四角旋落至二角近聞太古各船搭客不取分文因爭而減因減而無現在東省人民赴北營生者已不可勝數云

笑林

●**潔淨一法**　新齊諧載有一國地近口岸民俗野蠻初無自治能力其俗果男女老小往往遺屎於道乏人掃除一千七百七十年間有西人到此欲闢商埠以其風俗不雅潔因教諭處土人每里養駱駝數頭日縱之道上不旬日而該處之穢盡除城廂內外若轉成一新世界焉或問其故西人曰辦潔淨莫如畜駱駝以其能食屎也屎既食盡則不辦潔淨而自然潔淨矣粵省官辦潔淨取諸糞欵其亦師此意歟

●**誤認同胞**　近日新名詞曰團體曰同胞革靴草帽者流無不挂諸齒頰然此特可爲知者道耳有志士與一武夫邂逅亦照例稱之爲同胞以視親切武夫誤會曰你別叫我做銅包我告訴你我還是鐵打的志士知不與言掉頭去異日向其友人略述　過友固不文不武半新半舊者微笑云子毋輕視武大其善悟處却不可及

NEWCHWANG, WEDNESDAY, APRIL 25, 1906.

M. Grosse, the new Russian Consul-General at Yokohama, arrived by the S.S. "Irene," which put in from Shanghai at 6:20 p.m. last Monday evening and is staying at the "Manchuria."

The "Irene," Capt. Taylor, has brought in the news of a disaster befalling to Messrs. Jardine Matheson & Co.'s steamer "Loksang" at about 75 miles south of the lightship.

From what we have been able to gather regarding the accident, it appears that the "Loksang" struck on a rock in thirteen feet of water south of North Point in the fog of last Sunday night. The water soon began to make its way into the engine room, and there being a swell running in rather high, she is constantly bumping against the rocks to hasten her own ruin.

She was found by the "Irene" lying in the small bight between Reef Point and North Point with the bottom of her forehold and engine-room pierced through by the rocks, dooming her to a total loss.

We are further informed that, in response to an urgent call for aid brought with the "Irene," Messrs. Bush Bros. the Newchwang agents, have dispatched Mr. C. G. Bush to the scene of the accident on board Messrs. Butterfield and Swire's steamer "Liangchow" which sailed for Shanghai at daybreak yesterday. Arrangements had been previously made that the outgoing vessel should stand in on her way so that Mr. Bush might communicate with the ship in distress to the end of rendering what services he could offer under the circumstances and report in person at Shanghai.

No. 14 "Nagatamaru" that came in yesterday morning is said to have confirmed the view that the wreck lies beyond human help, although life on board is in nowise in danger.

The "Irene" has also brought in the mail matter on board the "Loksang."

Lt.-Col. and Mrs. Yokura gave a dinner last evening. Among the guests who attended were Mr. and Mrs. Sammons, Mr. and Mrs. Segawa, Mr. Beltchenko, Mr. and Mrs. Bandinel, Miss Ohga, Lt.-Col. Mikami, in command of the Niuchiatun Garrison, and Maj. Tsuda, the Battalion commander, Niuchiatun.

Mrs. Yokura desires us to announce that she will receive calls on Mondays between 3 and 5 in the afternoon and also that, now the new tennis court being quite ready, herself and Lt.-Col. Yokura will be at home for tennis on the same afternoons at 5, beginning with next Monday (April 30th).

Mr. M. Odagiri, Director of the Yokohama Specie Bank arrived at Newchwang yesterday morning to assume his duties as General Manager of the Manchurian Department. His assistant, Mr. K. Onuki, *hogakushi*, who was here as predecessor to Mr. Mori, the present Asst.-Manager of the Newchwang Branch, had preceded Mr. Odagiri and has been at the port for a fortnight.

Mr. T. H. Wiull of the Customs has been transferred to Tientsin and will leave for his new post by the S.S. "Yeiko-maru" to-morrow (Thursday). He has been a general favourite with his associates, to whom his impending departure will be a positive deprivation. We wish him success and prosperity.

Mr. C. S. J. Boland and Mr. Bengtsson have been transferred here from the Shanghai Customs, arriving last Saturday. We wish them welcome. Mr. Bengtsson who left the port last spring for America only to rejoin the service lately at Shanghai, lost a pet puppy barely 2 months old on the day following his arrival. It is an English pointer, brown and white. Any information calculated to lead to its recovery will be thankfully received by the owner.

Yesterday's Tokyo telegrams state that the Japanese press unites in the cry the Government should take prompt and effective steps to express the national sympathy for the seismic calamity in California. It is feared that there will be no steamers leaving San Francisco for some time.

(April 24, 1906.)

JAPAN	Bank T.T.	100
	" Dem'd	100¼
	P'ate 15 d/s.	101
SHANGHAI	Bank T.T.	71
	" Dem'd	71¼
	P'ate 15 d/s.	72¼
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾
	" Dem'd	102½
	P'ate 10d/s.	101½
LONDON	Bank T.T.	2/-7/16
	" De'd	2/½
	Cr. 4 m/s.	2/1⅛
AMERICA	Bank T.T.	49⅛
	" Dem'd	49¼
	Cr. 4 m/s.	51¼
Bar silver - - -		30 16/11

時刻

唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝帮子至新民	上三、〇〇	下六、五七

一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達致…ハ保管可申候
市場北三階樓時計店ノ二階　宮原公司

最寄リ區長迄御差出相成リ度候也　牛莊日本人會

土木建築用鐵材料　其外鐵物諸般　門會街東　喜場

豫報

昨氣溫
昨日の最高溫度五十九度七　最低溫度四十度五
昨年との　日溫　低廿一度一　低十六度〇

營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 **高砂ホテル 高砂亭** 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 **竹村館** 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 **大和館** 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 **公樂園** 南永世街

東京 生蕎麥一式 **東庵** 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 **金城ホテル 第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 **醉花園 澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科　さるそば 第二更科　營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 叮嚀専一 **柳亭** 豊濟門街二三 店主 玉岡 益人

御料理並ニ温泉 **一力** 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 **松月亭** 營口元神廟街一四三号 住松信大盛

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉

御料理會席 **菊水館** 主任 朝枝園捷

旅館西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家**

御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 **來々亭** 主任 石田清

和洋料理御旅館 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續〻御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 **奉天館** 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 **日清倶樂部** 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ 奉大小西門通（元紅葉館跡）（電話 號）

旅館料理店 **日の出樓** 奉天小西關大街南 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 **梅松館** 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜こ御取扱可申上候以上 奉天十間房第十五號

御旅館料理 **高砂館本店** 奉天城外廿四號 高砂館支店 **奉高館** 店主 宇本智平

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街（電話號）主任 藤島初野

御料理 **梅ケ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

一等御旅館 **茂林館** 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 **日章館** 奉天小西關大什字街南へ入

牛肉雞肉すき燒 **日章亭**（電話 號）

御旅館 **瀋陽館** 奉天小西門外大街路北

奉大小西關新來當街々 御料理本店 **金城館**（電話十九）
奉大小西門街大什字街 御旅館 **金城ホテル**（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 **金城館**（電話八三）
營口永世街 御旅館支店 **金城ホテル**
大連市吉野町 御料理支店 **金城館**
大連市吉野町 御旅館支店 **金城館**

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一寸一言申添置候

和洋會席 **御料理**
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 **日本館**（電話百三十）
各位樣

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 **加州組**（電話八十六番）

惠比須ビール新荷着
●金升洋行
●盛進商行

着荷廣告
筑前博多單帶、全伊達卷、御召類、セル地、
ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、
輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろ〳〵
萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、
營口 加藤洋行（電話八十番）
四月十八日ヨリ全廿八日マテ本社事務員全診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候
明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

飯塚工程局材料部 營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

大連 **東洋ホテル** 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣 營口青堆子 **清水寧木局**（電話九十四番）

發賣
料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
營口元神廟街 **捌荷洋行**（電話一四七番）

爲替相場（四月二十四日）
日本向 九十九圓七十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二兩五十錢
芝罘向 一百三圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類 半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙 一〆 七圓五十錢
仙花紙 一帖（六十枚）六十錢
全 狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
室内装飾品及寢具 矢野洋行
蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
疊 薄緣 麻緞通 綿緞通 由加多織 二圓六十錢以上三圓 十枚 八圓 一疊敷 三圓 全 三圓五十錢 全 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 洋八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 九弗六十仙